日本勤労者山岳連盟・静岡県勤労者山岳連盟

長泉麗峰山の会 (sine１９９４)

第２９期・０５巻　　２０２３年　　８月号　　NO. 264

仲間と仲間を結ぶ機関誌

すーほう

Susono Reihou Alpine Club

風の記憶

山行 NO. 2025
2023/06/24
奥秩父・乾徳山

2023 年度・08 月度例会資料　　2023/08/05

１．報告・当面の予定
０６月０６日（水）個＝仙台・泉ヶ岳　２・・・ついで登山
　　０７日（木）個＝奥羽山脈・焼石岳　２・・・延々と続く花園
　　０８日（金）個＝夏油温泉・石灰華　２・・・国天然記念物、大きな石灰の結晶塊
　　１７日（土）会＝宝永山　６＋１・・・北村さん入会、宝永第二火口直登、Ｉ不調
　　１８日（日）個＝宝永山　４・・・途中まで
　　２０日（火）～２１日（水）個＝仙ノ倉山　２・・・花の楽園
　　２４日（土）会＝乾徳山　３・・・道満尾根から、山頂にミヤマキンポウゲ
０７月０７日（金）個＝霧ヶ峰・車山　４・・・快晴涼しい、キスゲは、まあまあだった
　　１１日（火）個＝富士山・須走八合　２＋１・・・三週間ぶりの山、サイコーだった
　　１５日（土）会＝御坂・黒岳　４・・・旧御坂峠越え、藤野木登山口までバス利用
　　１５日（土）個＝霧ヶ峰・車山・・・１＋２
　　１６日（日）個＝乗鞍岳・・・１＋２
　　１６日（日）～１７日（月）個＝富士山・お中道　２＋１・・・水ヶ塚発６時のバスは
　　７時発。五合目発８時。長田小屋まで。人が溢れ、連休は来ない方が良い
　　２１日（金）個＝二ッ塚　２・・・長田小屋でオヤジと交流、カキ氷
　　２２日（土）会＝狩野川本流リバー・ウォーク　４＋１・・・水が冷たかった

２．寄贈会報とピックアップ
「あしたか」　沼津勤労者山岳会　　７月号　　NO.表記ナシ　　P10　　電子版
表紙＝トンボロ、予定＝三ッ頭～権現岳、至仏山、蓼科山、鬼ヶ岳～雪頭ヶ岳
報告＝堂ヶ島トンボロ・清掃ハイク、城山～発端丈山、入笠山、三ッ峠～本社ヶ丸、櫛形山

「あさぎり」　あさぎり山の会　　７月号　　NO.357　　P40　　電子版
報告＝長者～天子ヶ岳清掃登山＝缶 7、瓶 13、可燃 6.5ｋｇ、御座山、南沢～横岳～硫黄周回、日光・女峰山＝往復は９Ｈの厳しいコース、八子ヶ峰、越前岳。計画など

「ハイキングだより」　みちぐさハイキングクラブ　７月号　NO.345　P8　電子版
月例ハイキング＝帝釈山～田代山、ほか
「みちぐさハイク・山の会 HP　https://mitigusahc.fc2.net/
８月号＝越後駒清掃ハイキング・・・裏三山・折枝峠・小倉尾根・銀の道・現地本部に分かれて取り組んだ。今年で５１年。全２４名。コース・参加者が多く万全の態勢で取り組んだ。が、反省点もあった。ほか尾瀬一周など

「会報　みちぐさ」　NO.303　2023/VOL１
５６回目の定期総会。３～５月、エグい記録多数。仙ノ倉山・北尾根、浅草岳・早坂尾根スキー＝下山中、１名はぐれる、焼山スキー、沼越峠～柴倉集落往復、還暦夫婦ロング・ワンディ挑戦記＝苗場山～小松原湿原周回など多数。

「甲斐峰」　山梨山の会　　６月号　　NO,313　　P21　　電子版
表紙「蝶から穂高」座学「リーダーとは何か」エッセイ「山ご飯」。登山教室「八王寺山」雀の学校「妙法ヶ岳」。記録＝西丹沢・沖ビリ沢、鉄砲木の頭～高指山、青笹山、坪山、関原峠、燕岳、須走？・立山。山行状況、山行予定多数。

「竜爪 mini」　静岡勤労者山岳会　　７月号　　電子版
報告＝御殿場線で、不老山。サンショウバラはなし、かわりに「ヒル」の大被害。

第５７期（２０２３年度）第３回理事会報告　　２０２３年7月2日

於　長田生涯学習センター

伊豆ＨＣ労山会員G（野口濶資）	○	清水労山（千葉洋己）	○	山登歩（花澤秀治）	○
（代　大石）	○	静岡労山（原田信義）	○	（周防紀一郎）	欠
三島労山（平野悟）	○	（森下栄治）	○	ＮＭＣ（海野美春）	○
裾野麗峰・ふじ山楽歩（加藤秀子）	欠	安倍っ子（竹本幸造）	○	（森　英代）	○
沼津労山（**大村　忠義**）	○	（村山俊一）	○	浜松労山（後藤秀）	○
あさぎり（富永政則）	○	焼津山の会（山崎勝）	○	フレンズ（小平悟一）	○

１　各ブロックからの報告

○東部ブロック

平和行進で、引継ぎに２名、初日に１４名、その後も１名以上参加した。

清掃ハイクの報告は担当から

○中部ブロック

６/23　ブロック会議実施

ふれあいハイクについて・・・場所は梶原山　　下見８/１

豚汁、ゲスト送迎、ゲームなどの分担決め

県連交流ハイクは、野田山で検討予定　今後志多三党して決めていく

２　各専門部からの報告　連絡等

○組織部

アンケート実施

＜新入会員を増やす取り組み＞

・多くの会で HP や SNS を活用して会の紹介をしている。そこから会員拡大につながっている会もある。

・バスハイクやハイキング教室などコロナ禍で実施できず、知人の紹介や口コミで多少増えているようだ。

＜魅力ある会運営＞

・各会でいろいろな取り組みがされている。

機関誌の発信、ライン、SNS の活用

山行形態や会員の要望を入れた山行の実施

自然保護活動で会の魅力を広げている

登山技術、新人教育などに取り組んでいる

会員拡大や退会者を減らさない取り組みをしていない会もあり。（３）

＊脱会や退会を検討している会もあり、現実を直視して対策を考える必要あり。

山楽歩の脱退理由は何？・・理事が欠席しているのでわからない➡理事に連絡

○教育遭対部

事故報告２件

今後事故報告について、事故者だけでなく申請者なども氏名、住所など消すようにする

○自然保護部

全国一斉清掃登山実施報告・・・１２団体からは報告あり

全国連盟には１０月末までに報告を

シカの食害について・・・静岡労山より報告あり。県に届ける（竹本）

シカの食害など山行中に見かけたら、写真を撮り日時や場所など自然保護部に連絡を。

全国自然保護担当者会議報告（６月 17 日（土）～18（日）埼玉県秩父郡「長瀞荘」）

１１団体から報告あり。 森林の荒廃、地球温暖化、入山者のマナーなど問題があるが、特にトイレの問題が大きい。食害も鹿だけではない！

3　県連関係　行事等

○静岡市クライミング教室　定員①初心者２４名　②①の修了者２４名　6/25 締め切り

①7/6（木）， 13（木）， 20（木）の 19 時から２１時（全３回）

②9/2（土）９時から１２時　5(火) 8(金) 12(火) 15(金) 19(火)の１９時から２１時（全６回）

２４名フル希望者あり。

○南アルプス写真展　　１０月３１日（火）１２時～１１月５日（日）１６時

静岡市民ギャラリー第２展示室

応募期限：10 月 16 日（月）１６時

出展数：自作で１人５点まで（今まで出した作品でもよい。）

＊これまでは、江藤さんに頼っていたが、本来の形に戻す。

個人でプリントアウトして出展する。（今年度版のチラシ等出来たら配信する）

○安全登山講習会　　（会員５６名参加）

タイムスケジュール

時間	内容	
11:30	理事会終了ご昼食　休憩　　講迎お迎え（竹本）　昼食手配（海野）	
	理事会開場の片付け	
12：45	会場の準備　横幕貼り付け　放送機器設置　　椅子や机の準備　写真展示 受付、机椅子、配布資料	
13：00	受付開始	参加者名記入　資料配布
13：20 13:30～ 15：30 15：40	開会　　理事長挨拶　　講師紹介 講演　野口いづみ　氏 「山の医療―山で起こるケガと病気の対処」 講演終了　(含質疑応答) 会長挨拶　お礼 閉会	
終了後	アンケート回収	会場片付け　　椅子　机　放送機器等

4　全国連盟関係

全国救助技術交流集会　（小樽市）	７月８日（土）～９日（日）
全国ハイキングリーダー学校　（奈良市）	９月 30 日（土）～10 月１日（日）

若手クライミング講習会 （長野県小川山）	９月 30 日（土）～10 月１日（日）
全国登山学校担当者交流会 宇都宮市古賀志山）	10 月 21 日（土）～22 日（日）
労山基金【会員向け】オンライン実務説明会 申込期限2023年７月３日	７月５日 （水） 19時～20時30分 内容：交付内容　交付申請の注意点等

５　連絡　次回に向けて等

〇山岳４団体話し合いより

静岡県山岳４団体自然保護活動委員会（仮称）　　７月１１日（火）来てこ

南アルプスだけでなく　富士山についてはどうか？・・話は出ていない。広げすぎても大変。

〇リーフレット等

・A4 三つ折りのものを全国連盟が各連盟、各会年間２００部まで無料で作成。
　専用フォームから申し込みを！

・県連・名刺サイズのものについて・・・秋までには作成する　裏面は、各会の名称で
　JWAF　と労山マークは入れる

〇今後について

＊10 月中頃カレンダー注文➡取りまとめ➡全国連盟連絡➡配布　（1 月の理事会で集金？）

ブロック会議や行事ありますか？（10 月後半～11 月末くらいで）　➡郵送

＊自然保護デーの取り組み、取りまとめ　・・・メールにて連絡

＊１１月末の組織数把握・・１１月の理事会もしくはメールにて連絡

＊県連交流ハイクについて・・１１月の理事会もしくはメールにて連絡

＊総会に向けて　　会計報告・予算案

ブロック活動費についてどう考えるか？

東部はブロック会議くらい。中部は活動しているのでお金は減る。

今のままでもいいと思うが、人数という人もいる。

要望・・・平和行進について

県内通し行進をやってほしい。東　中　西部で分担を決めてできないか？

次回理事会に山楽歩の人には出席してほしい。

次回理事会は１１月２６日　長田生涯学習センター　９時半から１１時半

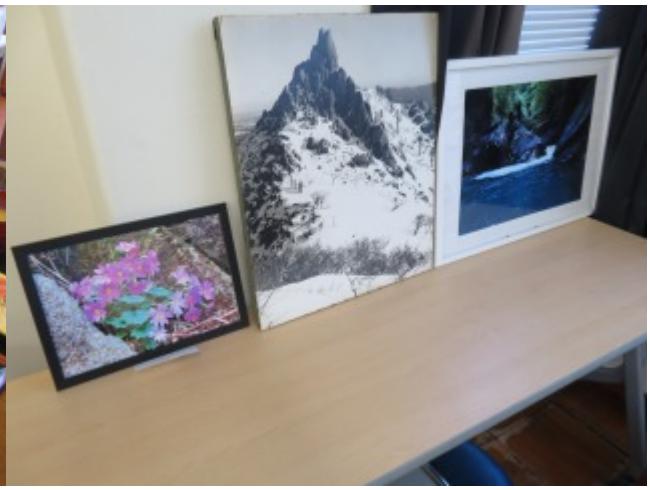
各ブロック、専門部からの報告　県連交流ハイク

カレンダー配布　議案書作成に向けて等

以上

写真報告　7/2　県連「安全登山講習会・実例から学ぶ山のケガと病気の対処」講師・野口いづみ
駿河区長田生涯学習センター13:20～15:30　参加　後藤、伊藤、合谷、北村　全 56 名

昼食は、清水「魚福」刺身定食



「南アルプス・ミニ写真展」

講師・野口いづみ氏

切り抜き帳 静岡新聞から転載

6/29

那須雪崩 栃木県に賠償命令

宇都宮地裁 教諭への請求 棄却

栃木県那須町で2017年、登山講習中の高校山岳部員らが亡くなった雪崩事故で、犠牲者5人の遺族が県などに損害賠償を求めた訴訟の判決で宇都宮地裁は28日、県と県高等学校体育連盟に約2億9千万円の支払いを命じた。責任者だった教諭ら3人に対する請求は棄却した。

県側は生徒に対する安全配慮義務違反を認め、3人は公務員個人としての賠償責任を否定していた。浅岡千香子裁判長は判決で「公務員が職務で損害を与えた場合は自治体に賠償責任がある」との国家賠償法の規定を引用し、3人への請求を退けた。

判決は、事故当日の朝に「気象情報を確認していれば雪崩発生の可能性を認識することができたが、講習会を中止しなかった」などと指摘。「雪崩に対する危機意識の希薄さ」が事故発生の一因だとした。

3人は、講習会委員長として現場近くの本部にいた1人と、生徒を引率した2人。

判決によると3人は、積雪や降雪のため登山を中止して雪上歩行訓練をする計画に変更した際、テレビなどで気象情報や注意報を確認せず、訓練の具体的範囲も協議しなかった。

雪崩発生後には現場にいた複数の教員が本部に無線連絡しようとしたが、責任者が連絡用無線機から離れていたため応答せず、判決は「対応が遅れた」と指摘した。

原告側弁護団は請求額を約3億8500万円と説明していたが、判決は約4億円とした。

原告側弁護団は3人への賠償請求棄却を「納得できるものではない」としつつ、教諭らの危機意識の薄さを指摘した点を「過失を認めてくれた」と評価した。

県と高体連は今後の対応について、いずれも「判決内容を精査した上で検討する」などとした。

事故は17年3月27日朝、那須町のスキー場付近の国有林で高体連登山専門部の講習会の参加者が雪崩に巻き込まれ、県立大田原高の生徒7人と教諭1人が死亡した。うち生徒4人と教諭の遺族が提訴した。提訴された教諭ら3人は、業務上過失致死傷罪で在宅起訴され、公判中。

那須雪崩事故 判決要旨

栃木県那須町の雪崩事故で、県などに賠償を命じた28日の宇都宮地裁判決の要旨は次の通り。

【当日の状況】

当初は講習として茶臼岳での登山訓練が計画されていたが、前日からの積雪や当日の降雪があったため、責任者だった教諭ら3人は2017年3月27日午前6時過ぎに協議し、スキー場ゲレンデ周辺で雪上訓練を行う計画に変更した。その際、3人はいずれも、気象情報や雪崩注意報の発令の有無などをテレビや携帯電話で確認していなかった。

【3人の責任】

公務員がその職務に関して故意または過失で損害を与えた場合、国または自治体が賠償責任を負う。3人はいずれも県立高の教員で、講習は学校教育の一環で実施された。事故は公務員の職務行為で発生し、3人は賠償責任を負わない。

【県と高体連の責任】

県は、3人と高体連の注意義務違反を争っておらず、県と高体連は賠償責任を負う。

【損害】

犠牲者らの逸失利益や慰謝料、葬儀費用などが認められる。遅くとも27日朝の時点で気象情報などを確認していれば、雪崩発生の可能性を認識できたはずだが、雪崩に対する危機意識の希薄さから、3人と高体連が講習を中止しなかったことが事故の一因だ。雪崩発生後の対応に遅れがあったことなどにも犠牲者らの落ち度は認められない。

等高線　NO.175

「回想 2000 回登山・4」

2023/07/25

（つづき）

とにかく、重い荷物だった。北沢峠に着いたのは夕方。1969 年（昭和 44 年）1 月 2 日、摩利支天・中央壁右ルートに向かった。ＢＣ発 3：00、天気は悪かった。

取り付き 10：00、長兵衛バンド 13：00、壁を抜けたのは 16：00 だった。猛烈な吹雪だった。ＢＣに着いたのは 22：00 だった。

この年の年末から年始は、未曽有の悪天候が続き、各地で遭難事故が続出した。特に剣岳では、10 日間猛吹雪が続き、81 名が孤立したといわれている。

・・・1968 年～69 年の年末年始、北アルプスの剱岳周辺では 10 日間も猛吹雪が続き、15 パーティー81 人が孤立遭難してしまいます。 3 人の仲間とともに難ルートである小窓尾根に挑んだ広島三郎（サブロー）は暴風雪で早月尾根を下山できなくなり、剱岳頂上の雪洞で必死に空腹に耐えながら脱出のチャンスを待つのでした。
https://www.youtube.com/watch?v=Rm7xMFwGxss　・・・当時の中日映画社ニュース

剣岳周辺で相次ぎ遭難死

・・・昭和 44 年１月 11 日、捜索打ち切りとなった剣岳付近で起きた雪崩による相次ぐ遭難事故では５パーティ 18 人が犠牲となった。

このうち最大の８人全員の犠牲者を出した東京都の葛飾山岳会は小窓尾根から１月２日に下山予定だったが、奥大日尾根付近で遭難したものと思われた。

次いで４人の犠牲者を出した大阪府立大の 13 人のパーティは大明神山の尾根 1000ｍで１人が死亡、そして山頂に取り残された６人のうち３人が死亡した。

日比谷高校山岳部ＯＢのパーティは３人全員が昨 12 月 22 日に薬師岳に入山して１月３日までに下山せず、遭難したものと思われた。

清水ＲＣＣ（静岡）の２人は剣岳早月尾根の 2800ｍの場所から東大谷側に滑落死、電電九州小窓隊の５人は剣岳頂上付近で１月３日、雪崩でテントが潰され１人が死亡した。・・・関連記事ネット

北嶺登行会時代・前列中央が大村勝彦氏

長泉麗峰山の会・山行報告書	文・北村　　写真・後藤、北村
山行番	NO.2025
日　時	2023年06月24日（土）曇・暑い
山　域	山梨・乾徳山（2031m）道満尾根
コース	長泉5:00-徳和駐車場発6:46-道満尾根7:52-道満山8:39-大平分岐9:18-乾徳山 11:00-鳳岩下（昼食）11:09～36-国師ヶ原-駐車場 14:00-温泉-長泉 18:00（反省会）
標高差	上・下り 徳和駐車場約 830m～乾徳山 2031m＝約1201m
藪漕度	ない
難易度	非常に困難　困難　**レやや困難（道満）**　普通 やや易しい　易しい
初参加は初めましての乾徳山	
参加者	後藤、加藤、北村＝3名

長泉麗峰山の会に入会させていただき初参加のアルパイン登山は乾徳山。魅力ある計画案の中でも、乾徳山は初めてだったので、より一層ワクワクでした。

天候は薄曇り。登山口では青空も少し見えていましたが、山の上は雲がかかっていました。雲が取れてくれることを期待してのスタート。長閑な集落を通り、道満尾根ルートで山頂に向かいました。まずは、三時間ほどの樹林帯歩き。登山者で賑わっていた駐車場とは対象的に人が少ない静かな森。野鳥の歌声を BGM に、会話もジョークも弾み気持ち良い汗をかきながら歩きました。

AM6:30駐車場　満車は時間の問題か

緑に囲まれた長閑な集落を見下ろす

樹林帯で見られた草花は、エイザンスミレ、サンショウ、マルバダケブキなどなど。
興味はあるものの、なかなか覚えられない草花や高山植物の名前・・・
教えていただいた名前はできる限りメモ。

Kさんから、細い葉っぱが特徴的と分かりやすく教えていただいたエイザンスミレ

スタートから二時間弱で道満山に到着して小休憩。軽い行動食と水分補給で身体をリセットします。小谷沢の頭まで残り一時間程度。しばらく、心地良い平坦な道が続いてから、少しずつ岩が増えてきて標高が上がっていることを実感します。そして、周囲が明るくなったと思ったら、草原に黄色い花が咲く 小谷沢の頭”に到着しました。ここまで、ほとんど人に合う事なく来ましたが、この場所は多くの登山者で賑わっていました。

そよ風吹く心地良い登山道を進む

徐々に岩の地形に

草原が広がる小谷沢の頭に到着

黄色い花がたくさん
キンポウゲの仲間でしょうか？

月見岩の周りは、休憩中の登山者で賑わっていました。

小屋沢の頭から先は、登山者が多くて賑やか。みんな頑張って登っていきます。進んでいくと金属音が聞こえてきて・・・終盤の鎖場の始まりです。鎖や岩の歩き方について、G さん、K さんに丁寧なアドバイスをたくさん頂きました。とっても嬉しかった。高所に対する手意識は少なかったものの、自分の知識の少なさ、技術の無さを実感しました。

”脚で登る”を意識して

岩場を進むと、所々に絶景ポイントが。雲が多いのは少々残念でしたが、岩場からの眺望は素晴らしい。すれ違い待ちを利用して写真を撮りました。富士山が見えていたら最高でしたが、梅雨時にこの景色が見れ大満足です。

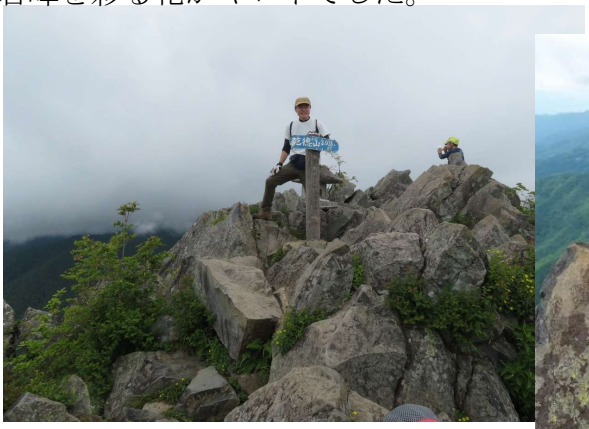
山頂手前、最後の岩登りは大きな鳳岩（おおとりいわ）
Ｋさんにお手本を見せていただき、Ｇさん、Ｋさんのアドバイスをしっかり意識して登りました。翌日は何年振りだろうか？ かなり力が入っていたのか、腕の下の広背筋が筋肉痛になりました。たくさん練習して上手に登れるようになりたい。

Ｇさんが見守ってくれる中、スタート。アドバイスいただいた左手を意識して頑張りました。

振り返って左手の使い方をアドバイスしてくれながら軽々と登っていくカッコ良いＫさん

傾斜のきつい場所をクリアしてＫさんから嬉しい一言

鳳岩を登りきって山頂に。周囲は雲がかかり遠景は見えなかったものの、風もなく穏やか。岩峰を彩る花がキレイでした。



山頂で嬉しいスナップ撮っていただき
自分が嬉しそうで、思わず笑ってしまう。

花がたくさん咲いてロックガーデンみたい。

山頂付近だけ、まだ咲いていたサラサドウダン

鮮やかな黄色が映えるミヤマキンバイ

昼食は鳳岩下の人が少ない場所でゆつくり。
Ｇさんからいただいた自家製トマト、キュウリ、Ｋさんからいただいた梅干し、フキ、ゆで卵、はちみつパン・・・どれもとっても美味しかった。お返しできるもか？と悩む。

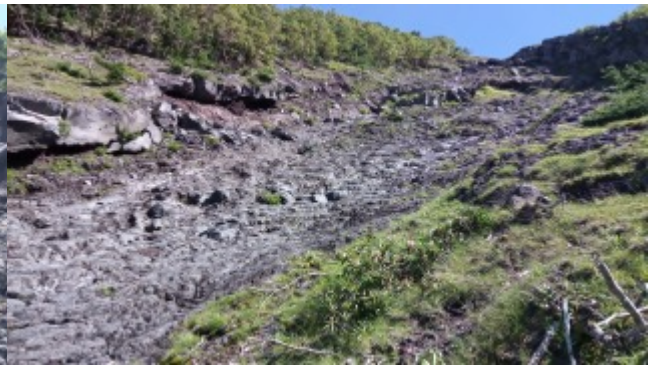
小谷沢の頭で下山時スナップを撮った。
カメラを構えながらジョークで笑顔を引きしてくれたＧさん

良い山に連れていって頂き、技術的なアドバイスをたくさん頂き、とっても充実した初参加の山行になりました。ご一緒させてくださったお二人には感謝しかありません。敷居が高くてなかなか問い合わせ出来なかった山岳会。長泉麗峰山の会に入会させていただき本当に良かったと思っています。山スキーや沢歩きもチャレンジしてみたい。これから会の皆様に良い交流をしていただけるよう、山の知識、技術、体力をつけていきたいと感じた一日でした。

追伸・・・昼食時、北村さんが入れてくれた、「日本茶」サイコーに美味しかったです。胃がスッキリし元気回復しました。やっぱり、温かいものが良いですね。感謝 （ごとう）

写真報告　7/7　　霧ヶ峰・車山肩～車山～物見岩～沢渡り～肩　　後藤、伊藤、斎藤、長島

写真報告　7/16～17　　富士山お中道・富士宮五合目～大沢～須走新六合長田小屋～御殿場口～宝永山～富士宮五合目　　加藤、星、ほか１名



裾野麗峰山の会・山行報告書	文・伊藤　　写真・後藤
山行番.	NO.2027
日　時	2023 年 07 月 15 日（土）無風・曇・蒸し暑い
山　域	御坂山塊・黒岳（1793m）
コース	長泉 6:00-御坂トンネル南口バス停（三ッ峠口）7:26-御坂トンネル-藤野木（とうのぎ）バス停（330-）-発 7:45-行者平 8:47-石畳 9:08-旧御坂峠 9:38-黒岳 10:48-第一展望台（昼食）10:51～11:35-南尾根-板取沢分岐 12:26-南口駐車場 13:24-御殿場・お胎内温泉-長泉・反省会
標高差	上・下り　藤野木登山口約 930m～黒岳 1793m＝約 863m
難易度	非常に困難　　困難　　やや困難　　レ普通　　やや易しい　　易しい
忘れられた古道を辿る	
参加者	後藤、伊藤、山田、長島＝4 名

車は御坂トンネル南口駐車場に置く。三ッ峠入口バス停から７：２６のバスで御坂トンネルを抜け藤野木（とうのぎ）バス停で降りる。料金は３３０－だった。

三ッ峠入口バス停

路線バスで行く山

ここから旧道を上る。入口で側溝工事のオジサンに「クマが出たから気をつけな」と注意をいただき、不安を抱きながら上る。鬱蒼とした林道は、サウナ状態でした。「オオバボダイジュ」の看板があった。

林道が終わり、赤い鉄橋を渡る。名前は分からないが、洞（うろ）がある立派な樹木があった。旧道の下部は荒れていたが、途中に「行者平」の看板があった。その昔、行者が修行をしたのだろうか。「子持岩」とよぶ碑もあった。

荒れた道が終わると、ようやく、本来の旧道に出た。大昔は、恐らく牛馬も通行できたであろう立派な道だった。小規模だが、「石畳」が見られた。

天空が広がり、明るくなると旧御坂峠だった。右手に朽ちた小屋の残骸が横たわっていた。昨年８月に来た時は、小屋跡には、ゴミが山積にされていた。

2022/08/21

2023/07/15

キレイになった理由は、今年、「山梨山の会」ほかが、労山の清掃登山で片づけてくれたからだ。山梨山の会は、以前、乾徳山・錦昌水のゴミも清掃してくれた。頭が下がる思いである。

石畳

しかし、中にはまだ生活ゴミ（釜など）が散乱しているから、もうひと踏ん張りと言いたい所だが、実はまだ、山頂下にも小屋残骸がある。そうなると、個人の努力では限界がある。行政で処理するのが良いだろう。そもそも、今まで放置されて来たのは、行政の怠慢ではないか。

ピークを三つ程乗り越え、やっと１７９２ｍの黒岳に着きました。記念写真を撮って展望台に移動。曇天の割に富士山が目の前にあった。下には河口湖と街が良く見えた。

その景色と後藤農園の美味しいトマトで昼食。１０名程が行ったり来たり、展望を楽しんでいた。

山頂下の小屋残骸

第一展望台

昼食後、南尾根を下山。すぐ下に更に素晴らしい第二展望台があった。「次回は、ここがイイよね」話した。

第二展望台

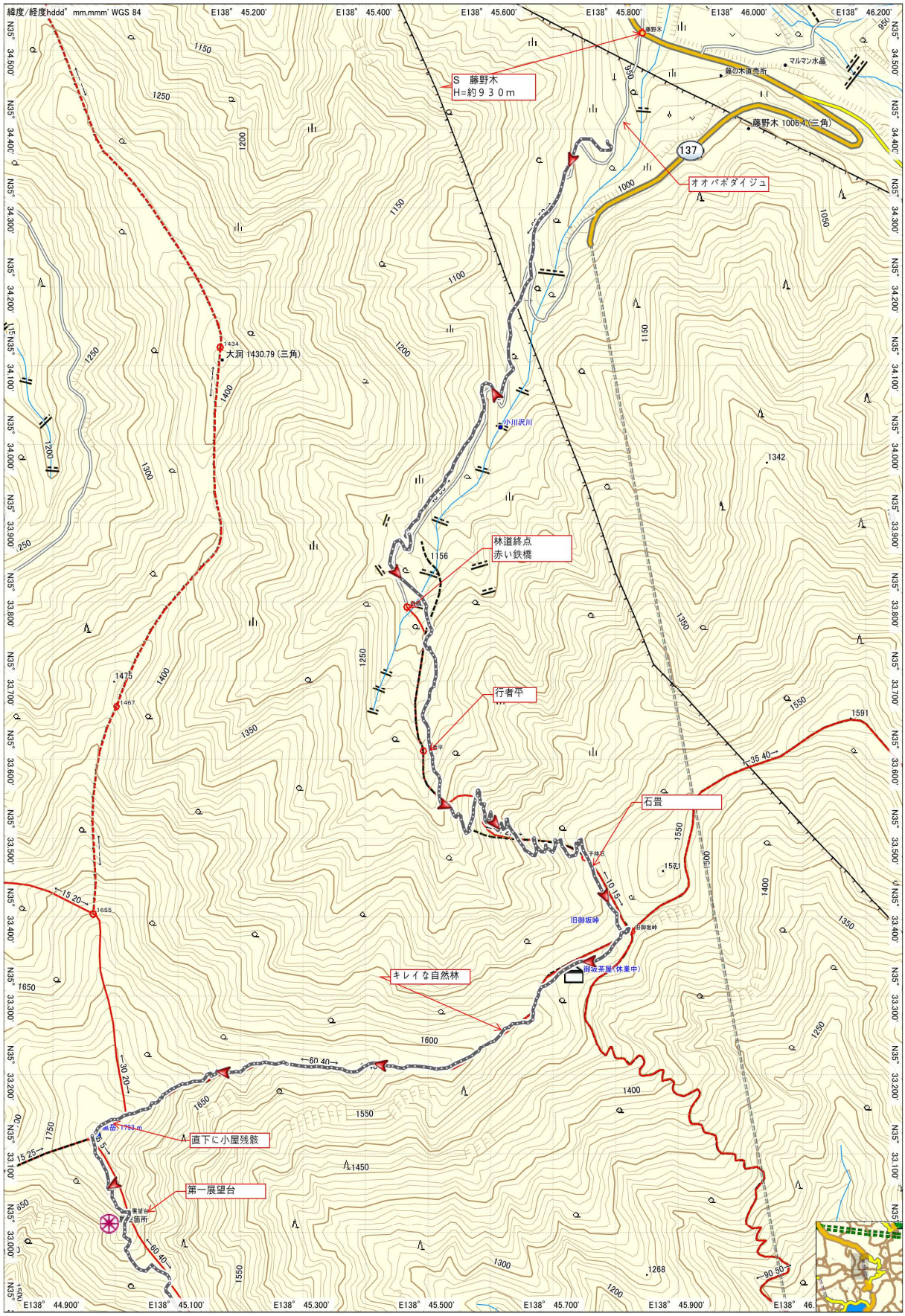
ここから滑り易い急斜面にロープが多くなった。慎重に下っていたら、地元（若者言葉で、ジモジーという）オジサンが上って来た。ミシマから来たというと、「明日、オレは“うな繁”にウナギを食いに行くんだ」といった。お待ちしております。

そのオジサンは、南尾根を河口湖から上って来て「大変だったね」といったら、「そんなこと、○×◇▽×○」と、面白い山梨方言を聞いたが、忘れてしまった。（ネットでは、大したことはないは＝がとのこたぁねぇ、でしたが・・・）

ロープ道

ジモジー

板取沢分岐から御坂トンネルに下る。尾根を外したらモーレツな蒸し蒸し。下部は荒れ放題。ピッタリ駐車場着。クマに会わず、ヤレヤレでした。お胎内温泉で汗を流し、ブドウをゲットし、満足感にいっぱいで帰りました。　　（一部、編集部で加筆しました）



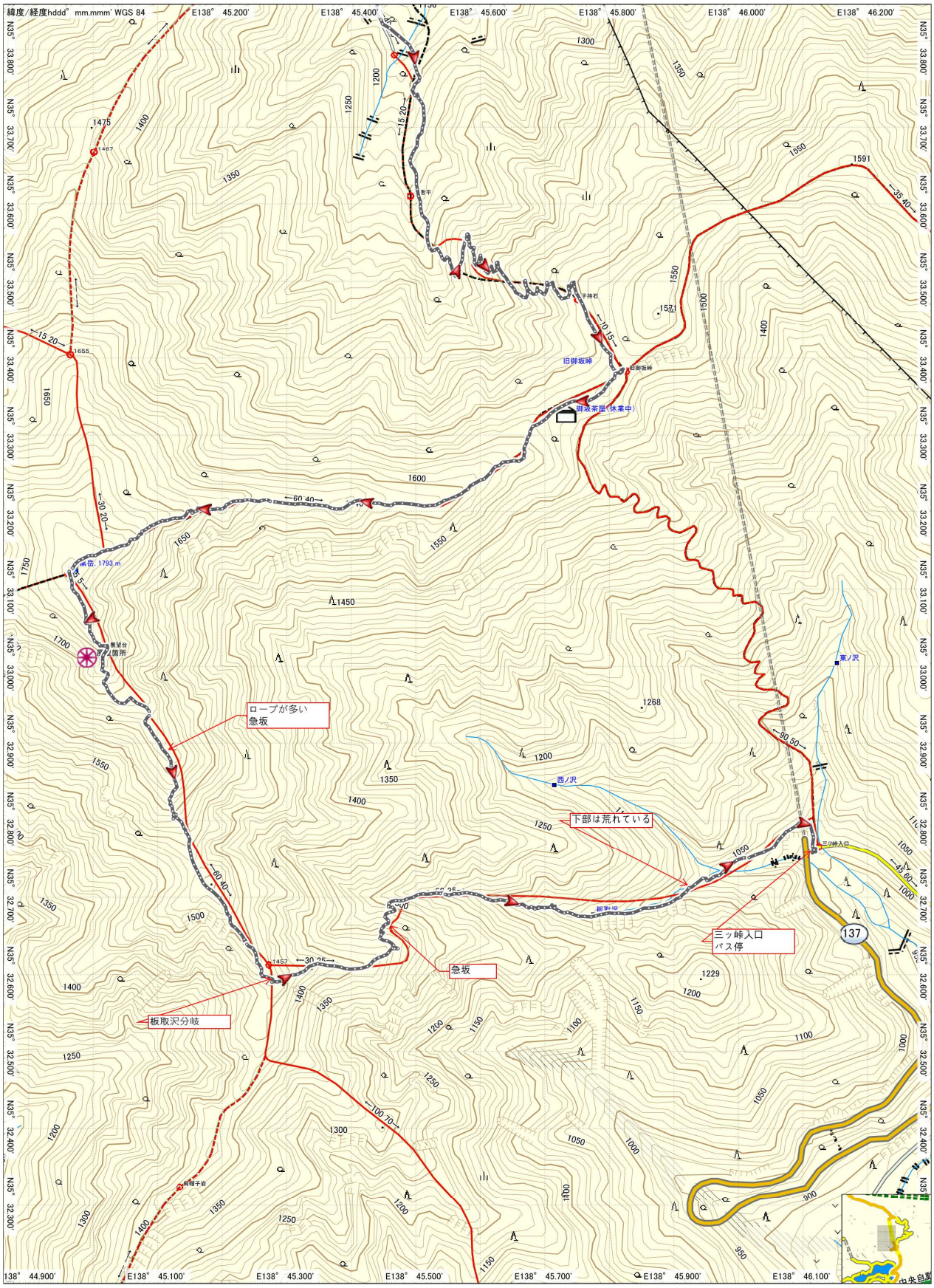
Japan Topo 10M Plus V3
CanvasMapple Co., Ltd 2014
Garmin Corporation 1995-2014

2023/07/16 15:04:16

0 m 100 m 200 m 300 m 400 m

GARMIN

MN TN
-7.8°
2010/01/01



Japan Topo 10M Plus V3
CanvasMaps Co., Ltd 2014
Garmin Corporation 1995-2014

2023/07/16 15:04:16

GARMIN

長泉麗峰山の会・山行報告書	文・写真　北村
山行番.	個人山行
日　時	2023 年 07 月 15 日（土）くもり
山　域	霧ヶ峰（車山・1925m）・・・(北岳を予定していたが強風のため山域変更)
コース	霧ヶ峰キャンプ場 12:30-車山肩-車山-車山肩-霧ヶ峰キャンプ場 18:00
標高差	上り・下り　キャンプ場約 1599m～車山 1925m＝約 326m
難易度	非常に困難　困難　やや困難　レ普通　やや易しい　易しい

ニッコウキスゲ咲き乱れる避暑地

参加者　北村　他 2 名	

三連休初日、中央高速の渋滞により到着が遅れたが、丁度、移動中に降り出した雨があがるタイミングの現地着。キャンプ場泊のためのテント設営を濡れることなく落ち着いてできた。その関係もあって予定した湿原周回コースを車山往復に短縮して、景色やヒュッテでの昼食を楽しむハイキングにした。

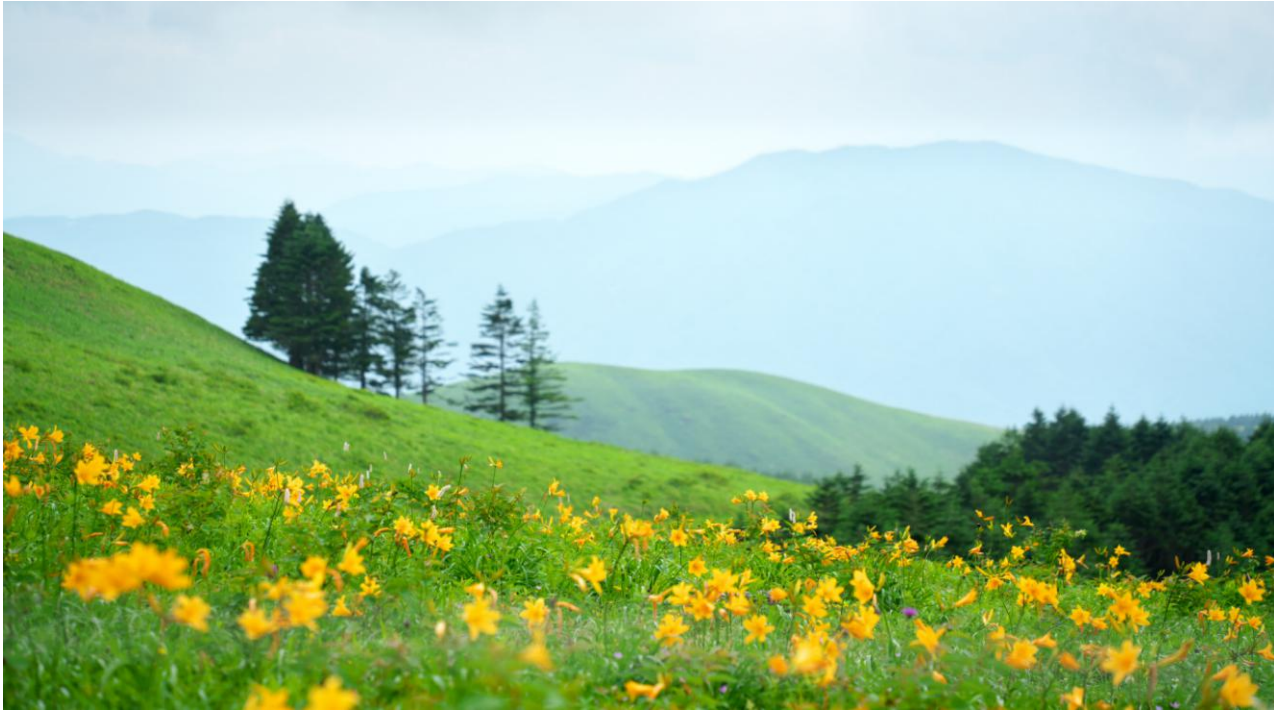
終日くもりで青空は見えなかったが、楽しみにしていたニッコウキスゲの群生は見事で、緑の高原の遠くに黄色い地帯が見えた時は「おぉ～」と声が出た。前の週に後藤さんから写真を見せて頂いた、あの素晴らしい風景を自分の目で見れて感動だった。

昼食はヒュッテのボルシチセット。リーズナブルで美味しくて大満足だった。

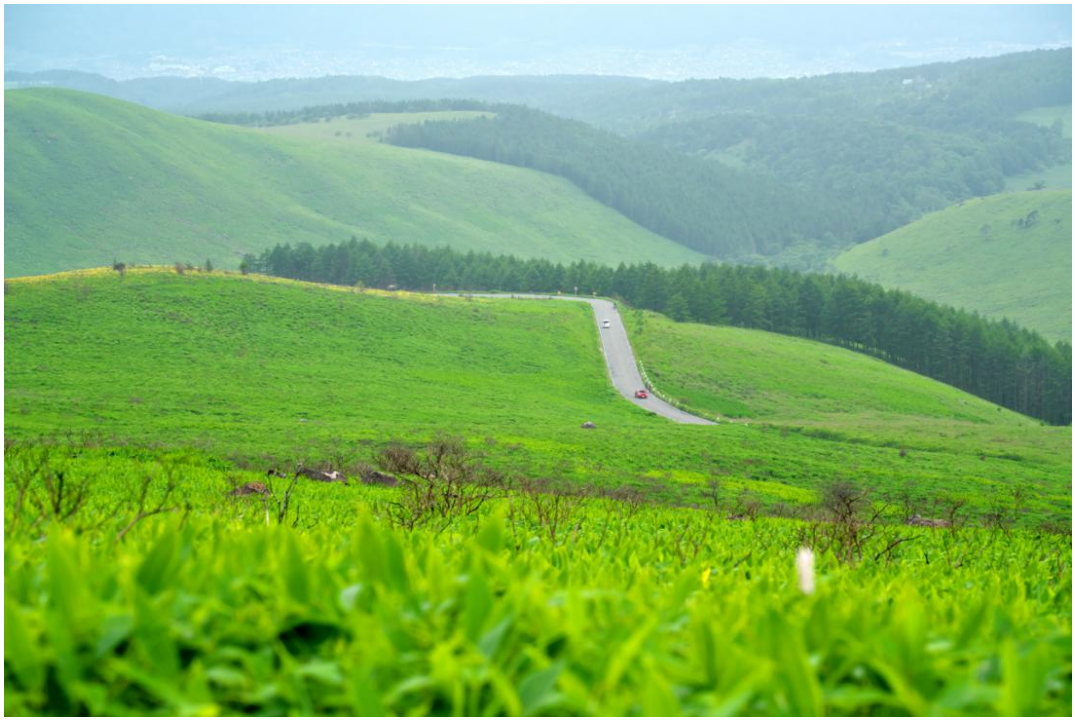
車山まで開放的な草原の気持ち良いハイキングコース。山頂到着時も遠景は見えなかったが、人も少なく涼しくて気持ち良く歩くことができた。

ノアザミの鮮やかな紫色が緑に映えていた。その他、現地で見れた花の写真を添付する。

夕方、下山した時には、薄めではあるが富士山が姿を見せてくれた。



広々した草原に咲くニッコウキスゲ



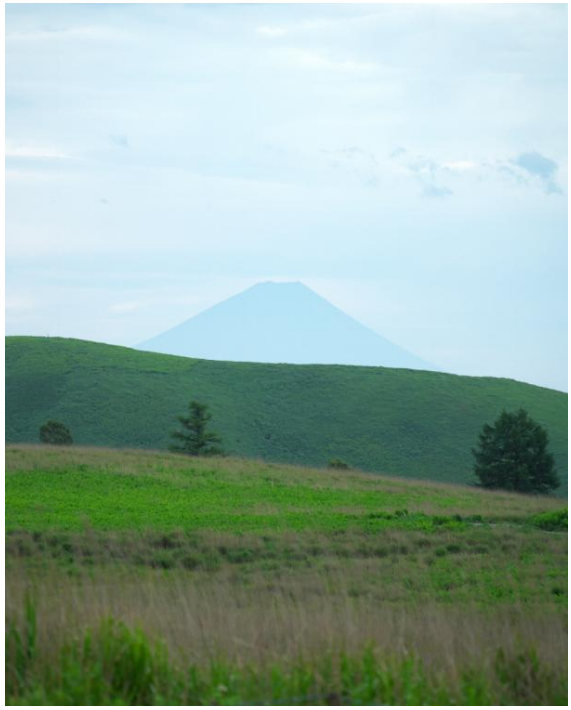
草原の先に
ニッコウ
キスゲの
群生が見える

↑イブキジャコウソウ

キンポウゲかな？

↑ヨツバヒヨドリとノアザミ（紫色）

ハクサン
フウロ
←



下山した時に姿を見せてくれた富士山

長泉麗峰山の会・山行報告書	文・写真　北村
山行番.	個人山行
日　時	07 月 16 日(日) 濃霧～曇り時々晴れ
山　域	飛騨・乗鞍岳（3026m）・・・(北岳を予定していたが強風のため山域変更)
コース	畳平 10:00-乗鞍岳(剣ヶ峰)13:00-富士見岳 15:19-大黒岳 15:55-畳平 16:25
標高差	上り・下り　畳平（2511m）～剣ヶ峰（3026m）＝約 515m
難易度	非常に困難　困難　やや困難　レ普通　やや易しい　易しい

女王コマクサの群生に魅せられて

参加者　北村　他 2 名

当日朝は登山口行きのバス停がある乗鞍高原までは良い天気だったが、乗鞍岳の山頂付近は雲がかかっていた。天気回復傾向の予報に期待して乗鞍高原 9:00 発のバスに乗車、バスは満員で補助席への乗車となった。想像した通りバス終点の畳平は濃霧。真っ白の山頂では味気ないと植物を見ながらゆっくりめに歩くことにした。

畳平のお花畑は白、黄色、赤と色とりどりの花が咲いていて癒された。初めて見たクロユリは想像より小さく可愛い花だった。風が強めで花の写真撮影は苦労した。

花を愛でながら進み大雪渓に近づいたあたりで霧が薄くなり初め、時折地上の景色が見えるようになった。ガスが流れてゲレンデ並みにスキーヤーが居る(100 人は居ただろう)大雪渓が見えた時は驚きと同時に周囲からどよめきが湧いた。肩の小屋を過ぎると青空も見え始め、この日二度目のどよめきが湧いた。やっぱり青空は最高だ～。

連休ということもあり、登山道は挨拶しきれない程の人で賑わっていた、頂上小屋から先は渋滞で動きが止まり、残り 100m程度に 30 分程要した。人の多すぎる山は大変だ。山頂で鳥居に手を合わせ頂上小屋前で昼食。富士見岳、大黒岳を通るルートで下山した。下山では神秘的な色彩の不淵ヶ池、砂礫地に咲くコマクサの群生が印象的だった。

下山途中で山頂方面にヘリが飛んで行った。後のネットニュースから下山中の転倒による負傷者の救助と時間的に繋がった。疲労による転倒なのか？脚力トレーニングと野口先生の講習で習った片足立ちを続けていきたい。

アルプスや富士山の景色は見えなかったが植物と高山歩きを楽しめた一日となった。

（付記）帰宅中、星空が綺麗だったので精進湖に寄り道して星空を撮影した(写真掲載)

到着時の畳平はガスガスだった

霧の中でもお花畑は綺麗だった

初めましてのクロユリ

ミヤマキンポウゲ

アオノツガザクラ

小さくて可愛いコイワカガミ

小さな雪渓でターンの練習をしていたスキーヤー

雲から現れた大雪渓はスキーヤーがたくさん

肩の小屋から先は登山者たくさん

キバナシャクナゲ（山頂付近）

剣が峰を見上げて（下山時に撮影）

富士見岳の登山道から不淵ヶ池を見下ろす

湖面と雪渓と緑の色あいが美しい

岩峰に彩を沿える高山植物

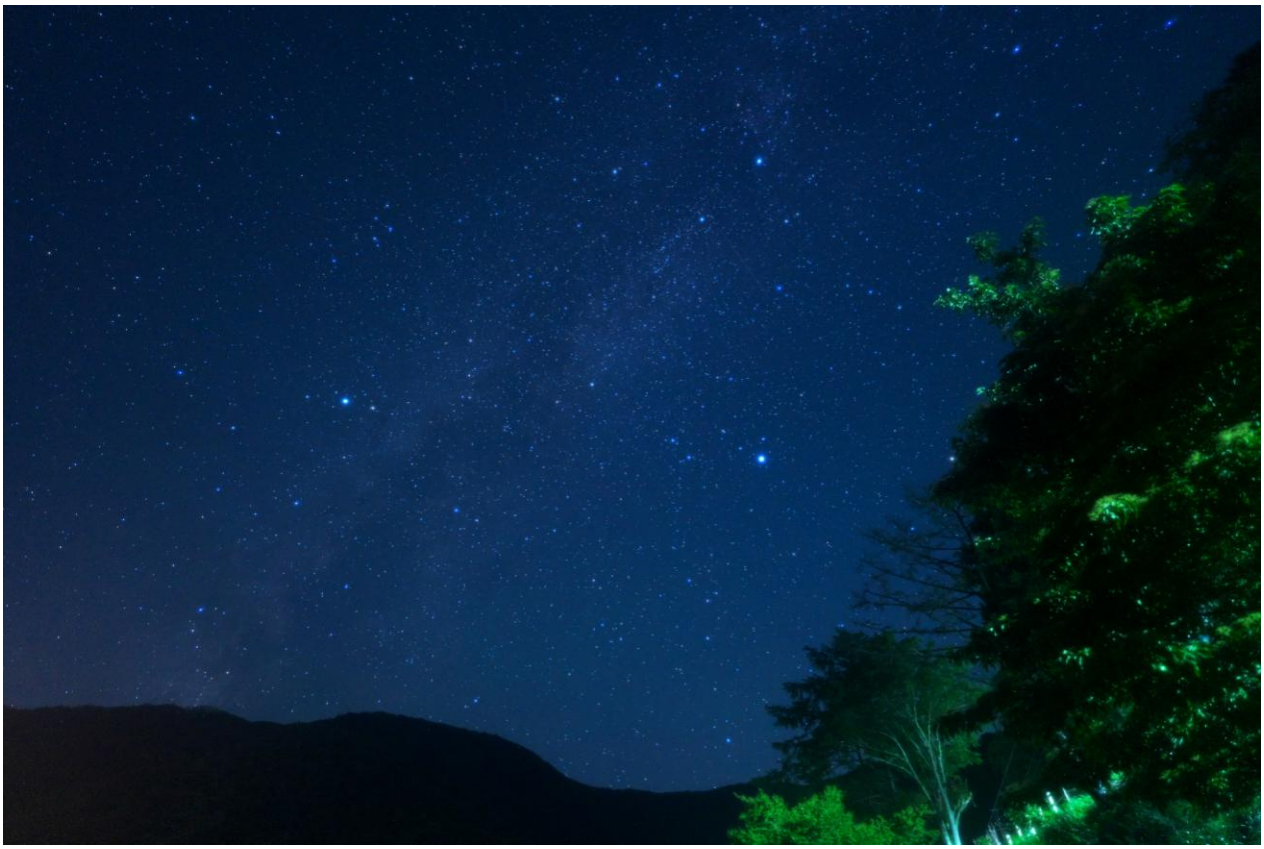
イワギキョウ（鶴ヶ池付近）

コマクサの群生が見事（富士見岳　斜面）

絵のように美しい景色（鶴ヶ池）
↓

（付記）　星が綺麗だったので、帰り道に精進湖に寄り道して写真を撮影した。

富士山と星が星が映り込む精進湖



天の川

画面中央の明るい星　右：こと座の一等星ベガ（織姫星）左：わし座の一等星アルタイル（彦星）

写真報告　　2023/07/22（土）晴　狩野川本流・リバーウオーク　加藤、井上、合谷、星、他１名

日本勤労者山岳連盟
静岡県勤労者山岳連盟・東部ブロック
長泉裾野・麗峰山の会（愛称・れいほう山の会）

会報「れいほう」
2023/07/25
第 29 期・05 巻　　2023/8 月号　　NO.264
連絡先 静岡県駿東郡長泉町下土狩 1541-12 徳山荘
090-8956-9990　　055-986-6075

HP　http://susono-reihou.babyblue.jp/
Mail　takanori_reihou8888@yahoo.co.jp

7/16　飛騨・乗鞍岳（撮影・北村）